

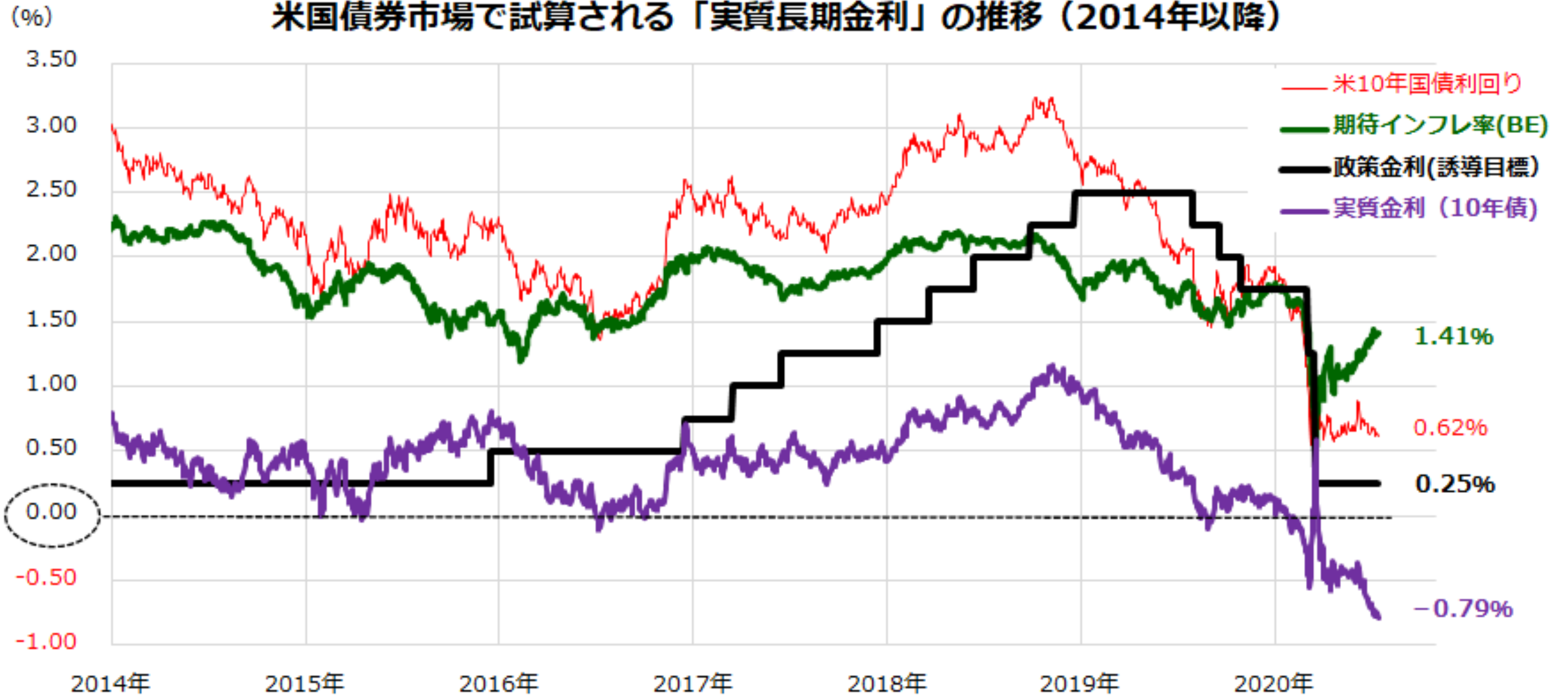
米国株式は「ゴールデン・クロス」を示現した

S&P500指数、50日移動平均線、200日移動平均線の推移



株高を支えるエンジンは「実質金利」の低下

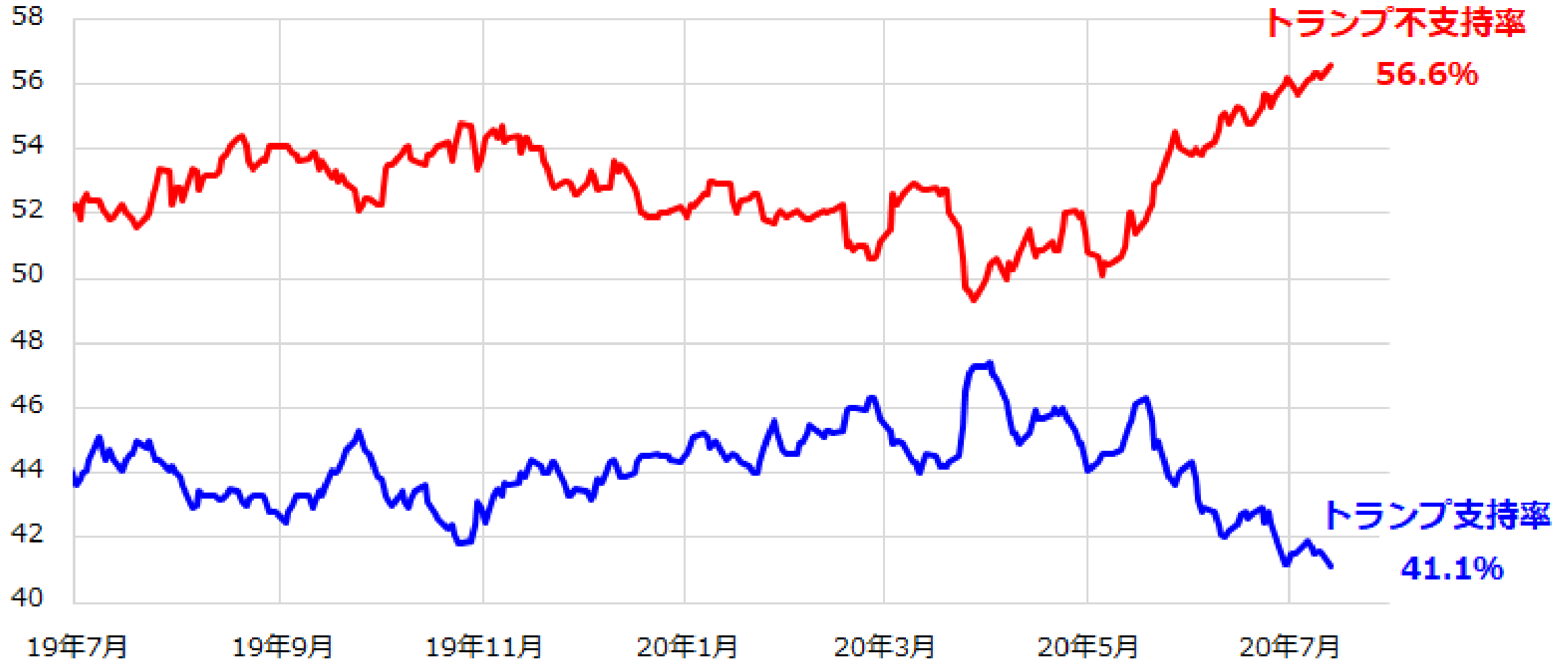
米国債券市場で試算される「実質長期金利」の推移（2014年以降）



米国市場は「ポスト・トランプ」に揺れるか

(%)

トランプ大統領の支持・不支持率(Job Approval Poll)の推移



*Real Clear Politics (全米世論調査)

(出所) Real Clear Politicsより楽天証券経済研究所作成

現職大統領のオウngoールでバイデンが浮上

大統領選挙の結果を巡る市場 予想平均 <当選予想確率>	予想確率(%) <PredictIt>		
	直近	1カ月前	3カ月前
バイデン候補の当選予想確率	62	58	43
トランプ ^o 現職の当選予想確率	40	42	51

<トランプ^o劣勢の要因>

- ① 新型コロナ感染拡大を巡る「初動の遅れ」と能天気な言動に批判が強い
- ② 米国経済の景気後退入りで失業率が10%を超えている（政治は結果責任）
- ③ BLM(人種差別反対)デモに対して「分断」を煽る姿勢で共和党内から離反
- ④ 共和党優勢州（南部）のロックダウン早期解除で感染が再拡大している
- ⑤ 6月23日発刊の「ボルトン暴露本」、7月14日発刊の「親族（姪）暴露本」

民主党大統領誕生を巡る警戒と期待

警戒と期待が混在する「バイデン民主党政権誕生」による変化

- ① 医療保険制度改革（オバマケア）の拡充、雇用の安定、教育・所得・貧富の格差是正を目指す。リベラル色が濃い民主党は「大きな政府」へ。
- ② トランプ政権が実施した「法人減税」を見直し税率を引き上げる可能性が高いが景気回復を待って実行。財政ファイナンスを活用する可能性も。
- ③ 対中政策や通商問題に取り組む外交姿勢が抑制的に。オバマ政権が取り組んだイラン核合意、パリ協定、TPPへの交渉復帰が見込まれている。
- ④ トランプ大統領が実施してきた唐突で勝手な「ツイッター攻撃」が市場を混乱に追い込む事態はなくなりそう。「非常識」から「常識的」へ。
- ⑤ BLM（人種差別反対運動）を巡っては「ダイバーシティ（多様性）」と「対立より融和」を重視。「副大統領候補は女性を指名する」と公約。

「現職大統領の再選失敗」と米国株（市場実績）

「現職大統領・再選失敗年」（1976、80、92年）のS&P500指数と平均推移

